2026 年 11 月 19 日

報道関係者各位

ピースマインド株式会社

職場の「ギスギス」を解消し、職場の関係性を再デザインする 組織改善コンサルティング『ベターリレーション』提供開始

～ハラスメントやグレーゾーンの課題を伴走支援。 ハラスメント研究の第一人者 津野香奈美教授が組織サーベイを監修～

企業向けに『はたらくをよくする®』支援事業を展開するピースマインド株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：荻原英人、以下ピースマインド）は、企業のハラスメント対策を包括的に支援する組織改善コンサルティングサービス「ベターリレーション」を開発し、サービスの提供を開始いたします。

■「ベターリレーション」開発の背景

職場におけるハラスメントは、被害者の心身への深刻なダメージにとどまらず、組織全体の生産性低下、優秀な人材の離職、そして企業ブランドの毀損につながる重大な経営リスクです。法令対応の観点からも、ハラスメント防止措置の義務化は年々強化されており、企業は研修や相談窓口の設置といった「対症療法」を超えた、組織風土の変革が求められています。

しかしながら、実効性のあるハラスメント対策を行うためには、乗り越えるべき壁があり、経営層や担当部門が課題改善に取り組んでいるにもかかわらず、十分な成果が得られないケースが少なくありません。ピースマインドでは、これまでの経験を元に、多くの企業が直面する壁が、現状の客観的な可視化、現状と企業固有の事情を踏まえた具体策の策定、対策への継続的な資源投入、にあると考えています。

こうした課題に対し、ピースマインドが創業から 28 年にわたり培ってきたメンタルヘルス・ハラスメント対策の専門知見と、心理学に基づく組織アセスメント技術を活かした「ベターリレーション」を開発しました。**組織の現状を学術的な知見に基づき可視化した上で、実行可能な対策を立案し専門家が伴走支援する、包括的なコンサルティングサービス**です。

■ サービス概要と実施方法

本サービスは、①現状把握（組織サーベイ）・課題整理、②対策立案（グランドデザイン）、③対策実施、④効果検証・報告の 4 つのステップで構成されています。担当コンサルタントが、組織のハラスメント課題を多角的に診断した上で、具体的な対策の立案・実行・定着まで一貫して支援いたします。

【ステップ①】 現状把握（組織サーベイ）・課題整理

従業員向け組織サーベイを実施し、組織内でいま起きていること（顕在リスク）と将来的なリスク要因（潜在リスク）を可視化するとともに、組織風土と制度運用の観点も包括的に診断します。組織サーベイはハラスメント研究の第一人者である津野香奈美教授の監修のもと開発されており、学術的根拠に基づく高い信頼性を持ちます。

【ステップ②】 対策立案（グランドデザイン）

現状把握の結果に基づき、経営層・人事担当者と対話を行い、過去の経緯といった組織固有の事情も踏まえて整理した優先課題について、実行可能な対策の立案を行います。課題改善に向けた具体的なロードマップを策定し、貴社専用のハラスメント対策計画を作成します。

© 2026 PEACEMIND Inc. All rights reserved.

【ステップ③】 対策実施
策定したロードマップに沿って、制度整備の支援、管理職・経営層向け研修の実施、ハラッサーコーチング、EAP（従業員支援プログラム）の活用など、必要な対策を組み合わせて実行を支援します。月 1 回の定例ミーティングで進捗確認と、対策を進める中で生まれる個別の困りごとの解決支援を行い、対策が滞りなく実施されるよう継続的な支援を行います。
（※研修等個別の対策手段の提供は、本サービスの内容・料金には含みません）

【ステップ④】 効果検証・報告
対策実施後に再度組織サーベイを行い、取り組みの効果を定量的に測定します。改善の実績・予兆を可視化することで継続的な資源投入の納得度を高め、持続的な組織変革を後押しするとともに、次年度以降の対策に関する提案も行います。

■「ベターリレーション」の特長

1 学術的根拠に基づく組織の「現在地」の可視化
経験や感覚に頼らず、産業・組織心理学の専門家が監修した組織サーベイを活用し、ハラスメントの実態および、実態を生んでいる組織風土を定量的に把握します。実態の把握については、顕在リスク（現に起きていること）だけでなく潜在リスク（今後発生し得る要因）も対象とすることで、適切な優先課題の特定と、根拠ある対策立案が可能となります。

2 対策立案・実行の困りごとへの継続支援
調査報告にとどまらず、現状把握の結果を踏まえた方針策定から対策の実行・効果検証まで、専門コンサルタントが一気通貫で支援します。また、月次の定例ミーティングを通じて、現場で日々発生する個別の困りごとへの相談・支援も行うことで、対策が滞りなく進むよう継続的にサポートします。

3 把握された課題に対応するソリューションをワンストップで提供
対策の実行段階では、個別具体的な課題ごとに、適したソリューションを採用することが欠かせません。ピースマインドでは、現場の生の課題に基づいたソリューションを取り揃えており、貴社にあった最適な組み合わせを提案します。

■ コンサルティングプラン

貴社の状況やニーズに応じて、以下の 3 プランからお選びいただけます。

1.エントリープラン （ステップ①②のみ）
現状把握・課題整理と方針・対策策定に絞った導入しやすいプランです。「まず客観的な視点で何が課題か知りたい」「対策の優先順位を整理したい」企業様に最適です。

2.スタンダードプラン （ステップ①から④）
エントリープランの内容に加え、対策実施伴走と成果報告まで行う、1 年間の万全支援プランです。「専門家と共に実行の壁を乗り越え、組織改善の成果を出したい」企業様におすすめです。また、当社の研修等対策ソリューションを特別価格でご利用いただけます。

3.プレミアムプラン （ステップ①から④＋ハラスメントホットライン）
スタンダードプランに加え、ハラスメント対策として有効なハラスメントホットライン（外部相談窓口）を特別価格でセットにしたお得なプランです。「相談体制も含め、万全の体制を整えたい」企業様に最適です。
※各プランの料金・詳細については、お気軽にお問い合わせください。

© 2026 PEACEMIND Inc. All rights reserved.

■ 監修者：津野香奈美教授のコメント

職場のハラスメントや、不機嫌さ・無礼な態度などを意味するインシビリティが生じる要因は、決して個人的なものばかりではありません。むしろ、個人的要因以上に職場環境の影響が大きいことが、これまでの研究から明らかになっています。そのため、ハラスメントやインシビリティを防止するには、個人への教育や啓発だけでなく、業務フローや組織風土の改善を含めた総合的な対策が重要です。

こうした対策を効果的に進めるためには、まず自組織の現状を正確に把握し、どこに課題があるのか、何から優先的に取り組むべきかを見極める必要があります。そこで今回監修した組織サーベイでは、職場のギスギスした人間関係を生み出す職場環境要因と、ハラスメント防止対策の実施状況に着目し、効果的な対策を立案するための基礎資料となることを目指しました。

本サービスを通じて組織の現在地を可視化することで、課題に応じた対策の優先順位を明確にし、組織全体で取り組む総合的なハラスメント防止対策につなげていただければと考えています。

＜監修者略歴＞
神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科 教授
津野 香奈美

東京大学大学院医学系研究科専門職学位課程および博士課程修了。博士(医学)、博士(保健学)、公衆衛生学修士。大学院在学中に米国 NIH(国立衛生研究所)の組織内紛争解決処理部門にインターン。

和歌山県立医科大学医学部助教及び講師、米国ハーバード大学公衆衛生大学院客員研究員、神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科講師・准教授を経て現職。大学院では健康行動科学、社会健康学・社会疫学、産業保健学の講義を担当している。

平成 28 年度厚生労働省「職場のパワーハラスメントに関する実態調査検討委員会」委員、令和 2 年度厚生労働省「職場のハラスメントに関する実態調査検討委員会」委員、令和 2～3 年度「中小企業におけるハラスメント相談体制実証事業検討委員会」委員、令和 4 年度厚生労働省「カスタマーハラスメント・就活ハラスメント等防止対策強化事業検討委員会」委員、令和 8 年厚生労働省「職場のハラスメントに関する実態調査事業」検討委員会 委員。(株)クオレ・シー・キューブ 人と場研究所所長、相模原市参与、小田原市ハラスメント対策推進アドバイザー、港区男女平等参画苦情処理委員、目黒区男女平等・共同参画オンブーズ、日本産業ストレス学会 理事、日本産業衛生学会 代議員、日本公衆衛生学会 代議員、日本疫学会 代議員。

■ ピースマインド株式会社 代表取締役社長 荻原英人のコメント

ハラスメントは、被害者の心身に傷を残すだけでなく、組織の活力そのものを損なう深刻な問題です。しかし、その実態は見えないことが多く、適切な対策が打てないまま問題が深刻化するケースが後を絶ちません。
本サービス『ベターリレーション』は、津野教授が提唱される「心理社会的安全風土（PSC）」の考え方を取り入れ、当社が長年培ってきた EAP・メンタルヘルスの専門知見と、心理学の知見に基づく組織サーベイ技術を活かし、組織の「今」を科学的に可視化します。対症療法の「ハラスメント対策」にとどまらず、組織課題の根っこを正確に把握した上で、職場の「関係性」を再設計し、実行可能な対策を提案し、専門家が伴走することで、「研修をやって終わり」ではない真の組織変革を実現してまいります。
本サービスを通じ、『はたらくをよくする®』という当社のビジョンの実現に向け、ハラスメントのない職場づくりと、はたらく人がいきいきと活躍し続けられる組織の実現に貢献してまいります。

© 2026 PEACEMIND Inc. All rights reserved.

【参考情報】

- ピースマインドの EAP（従業員支援プログラム）
  https://www.peacemind.co.jp/service/eap
- ピースマインドの研修プログラム
  https://www.peacemind.co.jp/service/training
- ピースマインドのハラスメント対策支援
  https://www.peacemind.co.jp/service/harassment

【ピースマインド株式会社について】

1998 年創業、日本・アジア地域における EAP サービスのパイオニア企業。アジア地域で、国際水準の品質認証「産業医科大学メンタルヘルスサービス機関機能認定」を取得している唯一の民間企業（医療機関を除く）です。「はたらくをよくするエコシステムを創り、社会をいきいきとした人と職場で満たす」を企業ビジョンとし、健全で、心豊かな、明るい未来社会に貢献し続けることを目指しています。 公認心理師・臨床心理士・精神保健福祉士・産業カウンセラー等の有資格社員および国内外の幅広いネットワーク体制で 1,400 社以上をサポートし、グローバル大手企業を中心に外資系企業の支援実績国内トップシェアを誇っています。

名称	：	ピースマインド株式会社 （タナベコンサルティンググループ[東証プライム上場：9644] グループ会社）
本社所在地	：	〒104-0061 東京都中央区銀座 3-10-6 マルイト銀座第 3 ビル 8F
代表者	：	代表取締役社長　荻原英人
創業	：	1998 年 9 月（設立 2004 年 3 月）
資本金	：	19,576 万円
事業内容	：	EAP（従業員支援プログラム）サービス、ストレスチェックの実施、組織分析、職場改善支援、研修・トレーニング、健康経営支援、産業保健支援サービス
HP	：	https://www.peacemind.co.jp/

【取材等のお問い合わせ先】

ピースマインド株式会社　マーケティング部
電話　：　03-3541-8656
メール　：　press@peacemind.co.jp
担当　：　髙橋（たかはし）、末木（すえき）
お問合せ　：　https://www.peacemind.co.jp/contact/form

© 2026 PEACEMIND Inc. All rights reserved.